

オイルクーラキット 取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

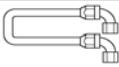
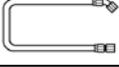
商 品 名	車種別オイルクーラキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No.	15004-AM013
製品説明書品番	E04261-M40012-00 Ver. 3-3.03
整備要領書品番	1036YE00A, 1036YE00B
メーカー車種	三菱シランサーエボリューションX CBA-CZ4A
エンジン型式	4B11
年 式	2007/10～
備 考	【注意事項】 <ul style="list-style-type: none">・弊社オイルクーラ用ローテンプサーモスタット(コードNo.15999-AM001)と併用することで更に効果が上がります。・フォグランプとの併用不可・RS取付け未確認 【別途必要部品】 <ul style="list-style-type: none">・エンジンオイル(4.5ℓプラス0.5ℓ～1.0ℓ)・三菱純正部品(6402A140)カバー フロントバンパーインタークRH(フォグランプを取外す場合)・三菱純正部品(6405A104)ガーニッシュ フロントバンパRH(フォグランプを取外す場合)

※適合車両の年式は、2013年02月現在のものです。
2013年02月以降に登録された車両への適合についてはお客様相談室にお問い合わせください。

改訂の記録

改訂No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2008/11	初版
3-3.02	2009/05	備考欄追記・記載方法変更
3-3.03	2013/02	部品表修正

パーツリストパーツリスト

連番	品名	数量	形状	備考
1	オイルクーラコア	1		
2	バンジョウ	1		
3	バンジョウボルト	1		
4	オイルクーラガスケット	4		
5	ユニオンAN10	1		
6	Oリング	1		
7	オイルクーラブラケットNo.1	1		
8	オイルクーラブラケットNo.2	1		
9	オイルクーラブラケットNo.3	1		
10	オイルクーラダクトNo.1	1		
11	オイルクーラダクトNo.2	1		
12	オイルクーラダクトNo.3	1		
13	オイルクーラダクトNo.4	1		
14	カラー	2		φ20-8 t=4
15	オイルクーラホースNo.1	1		90°-90°
16	オイルクーラホースNo.2	1		0°-45°
17	ファイアスリーブ	1		
18	ボタンボルトM4	12		
19	ボルトM6 L=15	8		
20	ボルトM8 L=15	3		
21	ボルトM8 L=20	3		
22	ボルトM8 L=30	1		

連番	品名	数量	形状	備考
23	ナットM4	12		
24	フランジ付きナットM6	8		
25	フランジ付きナットM8	7		
26	プレーンワッシャM4用	24		
27	プレーンワッシャM6用	8		
28	プレーンワッシャM8用	6		
29	プレーンワッシャM8用 大径	2		
30	スプリングワッシャM6用	8		
31	スプリングワッシャM8用	7		
32	タイラップ(中)	5		
33	コルゲートチューブ	1		
34	スポンジテープ	1		
35	取扱説明書	1		
36	取付説明書	1		

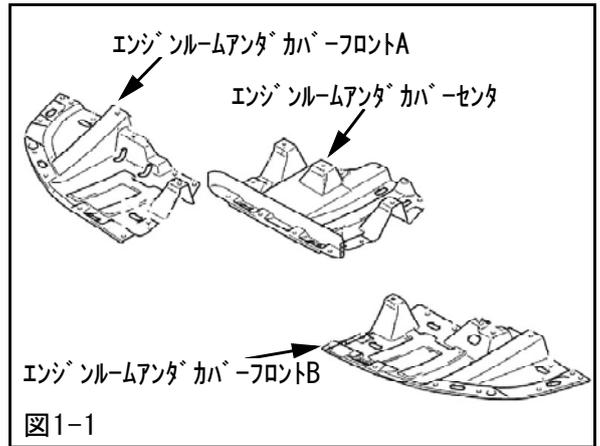
1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前に、エンジンオイルを準備しバッテリーのマイナス端子を取外してください。
必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行なってください。

- (1) エンジンルームアンダカバーフロントA, エンジンルームアンダカバーフロントB, エンジンルームアンダカバーセンターを取外してください。(図1-1)

アドバイス

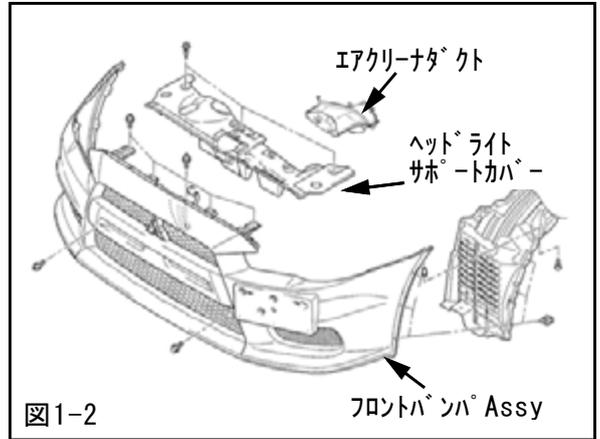
- ・エンジンルームアンダカバーフロントA, エンジンルームアンダカバーフロントB, エンジンルームアンダカバーセンターは再使用します。



- (2) エアクリーナダクト, ヘッドライトサポートカバー, フロントバンパーAssyを取外してください。(図1-2)

アドバイス

- ・エアクリーナダクト, ヘッドライトサポートカバー, フロントバンパーAssyは再使用します。



- (3) オイルクーラダクトを取外してください。(図1-3)

- (4) オイルクーラパイプブラケット①, オイルクーラパイプブラケット②を取外してください。(図1-3)

アドバイス

- ・オイルクーラパイプブラケット②は再使用します。

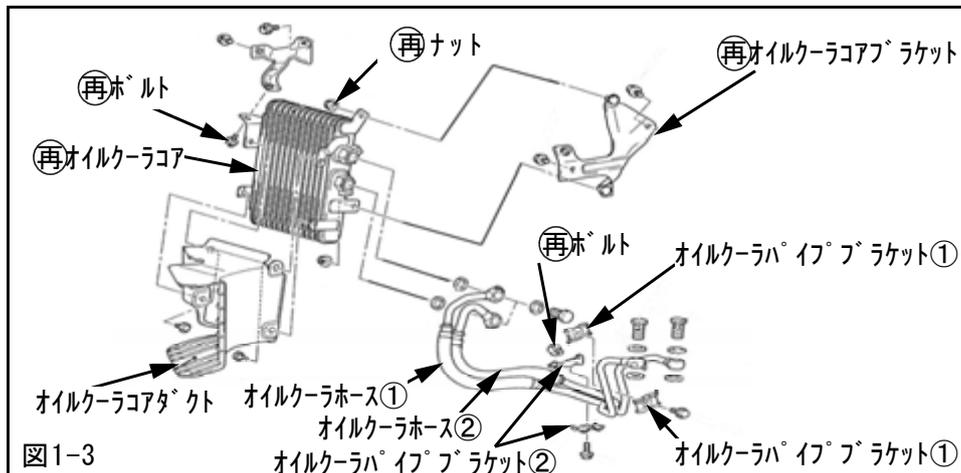
- (5) オイルクーラホース①を取外してください。(図1-3)

- (6) オイルクーラコアを取外してください。(図1-3)

- (7) オイルクーラコアブラケットを取外してください。(図1-3)

アドバイス

- ・オイルクーラコアブラケットは再使用します。



2. ノーマルパーツの加工

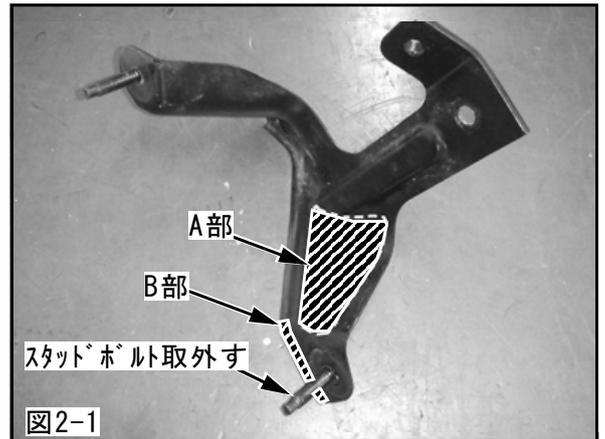
(1) 純正オイルクーラコアと干渉しないようにオイルクーラコアブラケットの図A部, B部を切取ってください。(図2-1)

(2) オイルクーラコアブラケットから図のスタッドボルトを取外してください。(図2-1)

アドバイス

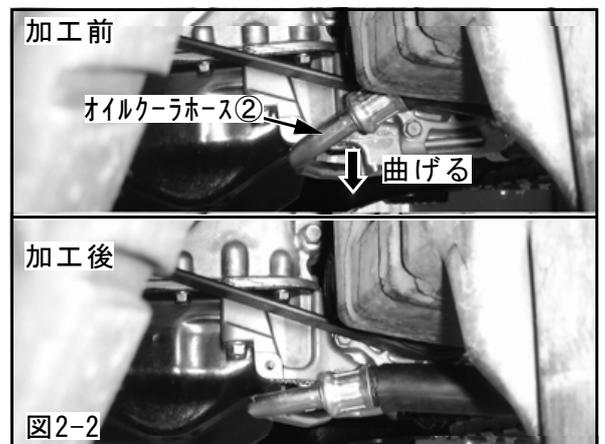
・ボルトのカシメ部分をグラインダ等で削るとスタッドボルトを取外せません。

(3) オイルクーラコアブラケットを元の位置に取付けてください。(図1-3)

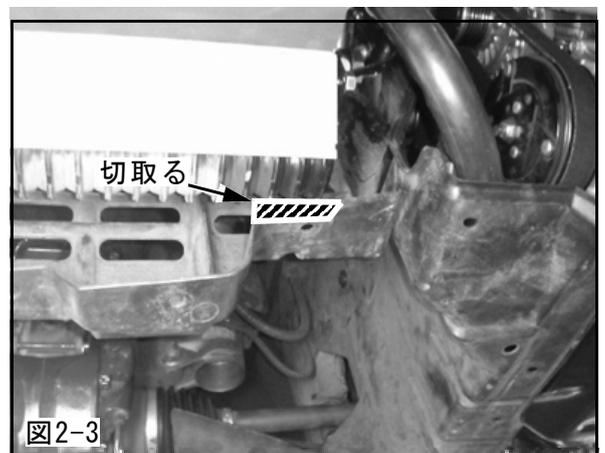


(4) オイルクーラホース②を図のように曲げてください。(図2-2)

(5) オイルクーラパイプブラケット②を元の位置に取付けてください。(図1-3)



(6) 純正オイルクーラコアと干渉しないように、インナフェンダ右側の図の部分切取ってください。(図2-3)



3. キットパーツ取付け

※3. (12)は、ウォータープレー装着車のみ作業を行なってください。

- (1) 純正オイルクーラコアにバンジョウを取付け、オイルクーラホースNo.1を仮付けしてください。(図3-1)
- ・ P2 : バンジョウ (×1)
 - ・ P3 : バンジョウボルト (×1)
 - ・ P4 : オイルクーラガasket (×2)
 - ・ P15 : オイルクーラホースNo.1 (×1)

アドバイス

- ・ バンジョウは、純正オイルクーラコアに対して垂直に取付けてください。

- (2) 純正オイルクーラコアに純正オイルクーラホース②を取付けてください。(図3-1)
- ・ P4 : オイルクーラガasket (×2)

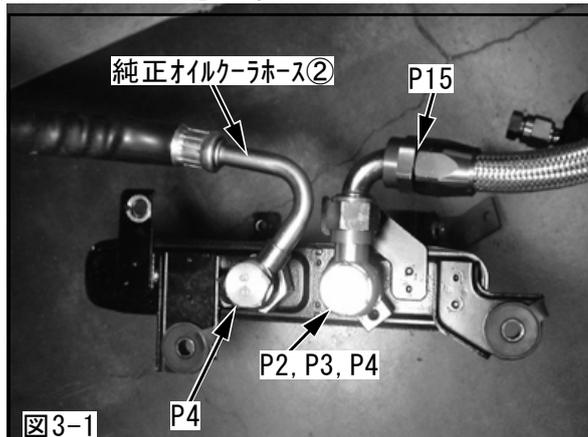


図3-1

- (3) ユニオンをエンジンに取付けてください。(図3-2)
- ・ P5 : ユニオンAN10 (×1)
 - ・ P6 : Oリング (×1)

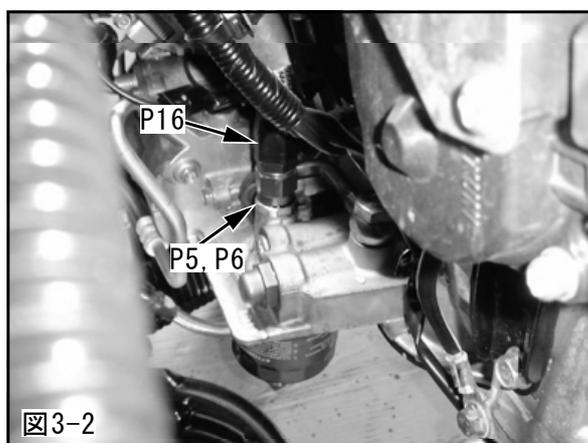


図3-2

- (4) オイルクーラホースNo.2にファイアスリーブを取付けてください。(図3-3)
- ・ P16 : オイルクーラホースNo.2 (×1)
 - ・ P17 : ファイアスリーブ (×1)

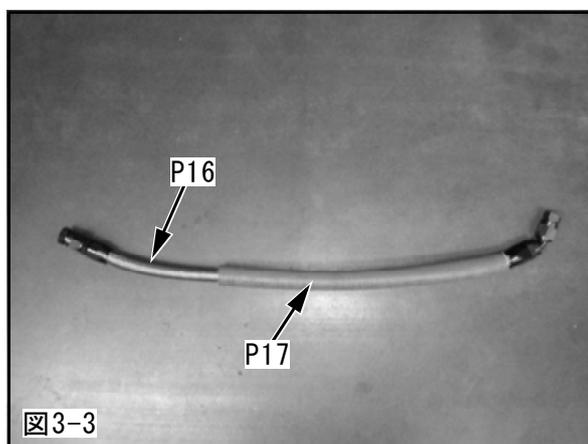


図3-3

⚠ 注意

- オイルクーラホースNo.2にファイアスリーブを取付ける際、ホース端部に取付けてある保護ビニールを取外さないでください。ホース内に異物が混入し、エンジンが破損する恐れがあります。

- (5) オイルクーラホースNo.2を3. (3)でエンジンに取付けたユニオンAN10に取付けてください。(図3-2, 図3-4, 図3-5)

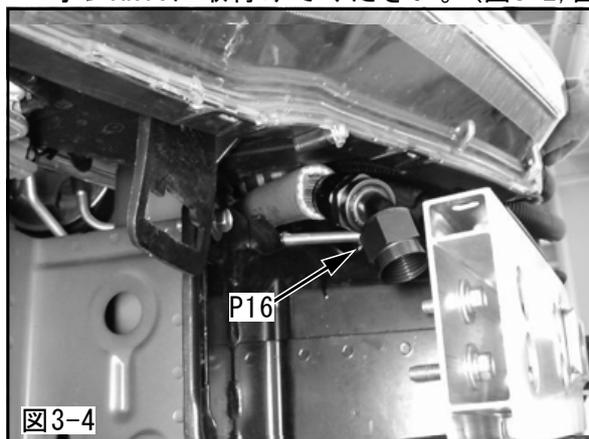


図3-4

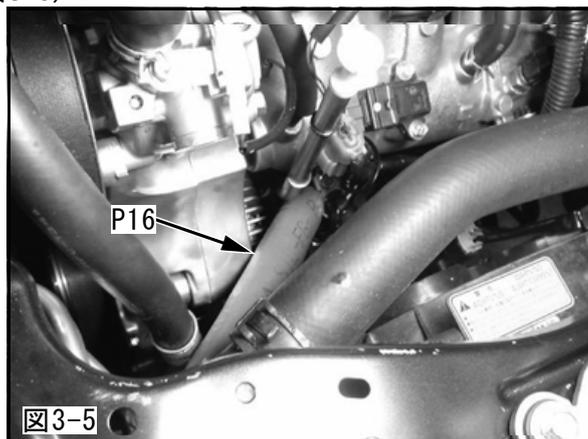
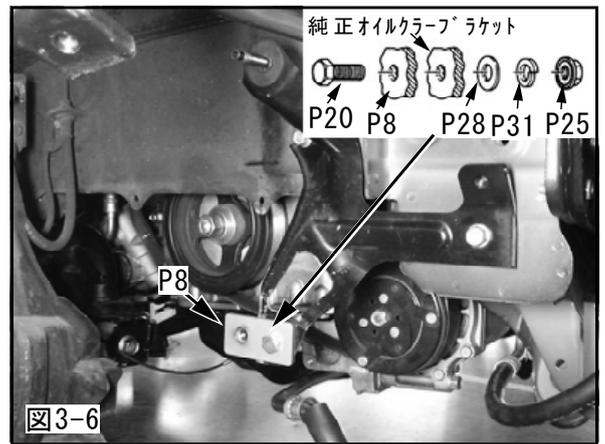


図3-5

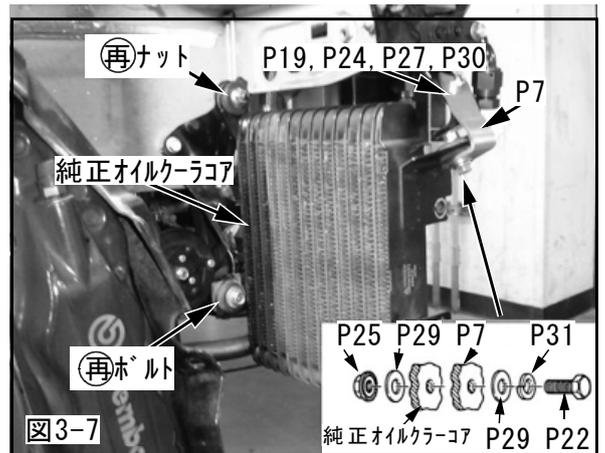
(6) 2. (1)で切り加工した純正オイルクーラブラケットにオイルクーラブラケットNo.2を仮付けしてください。(図3-6)

- ・ P8 : オイルクーラブラケットNo.2 (×1)
- ・ P20 : ボルトM8 L=15 (×1)
- ・ P25 : フランジ付きナットM8 (×1)
- ・ P28 : プレーンワッシャM8用 (×1)
- ・ P31 : スプリングワッシャM8用 (×1)



(7) 純正オイルクーラコアを車両へ仮付けしてください。(図3-7)

- ・ P7 : オイルクーラブラケットNo.1 (×1)
- ・ P19 : ボルトM6 L=15 (×1)
- ・ P22 : ボルトM8 L=30 (×1)
- ・ P24 : フランジ付きナット M6 (×1)
- ・ P25 : フランジ付きナット M8 (×1)
- ・ P27 : プレーンワッシャM6用 (×1)
- ・ P29 : プレーンワッシャM8用 大径 (×2)
- ・ P30 : スプリングワッシャM6用 (×1)
- ・ P31 : スプリングワッシャM8用 (×1)

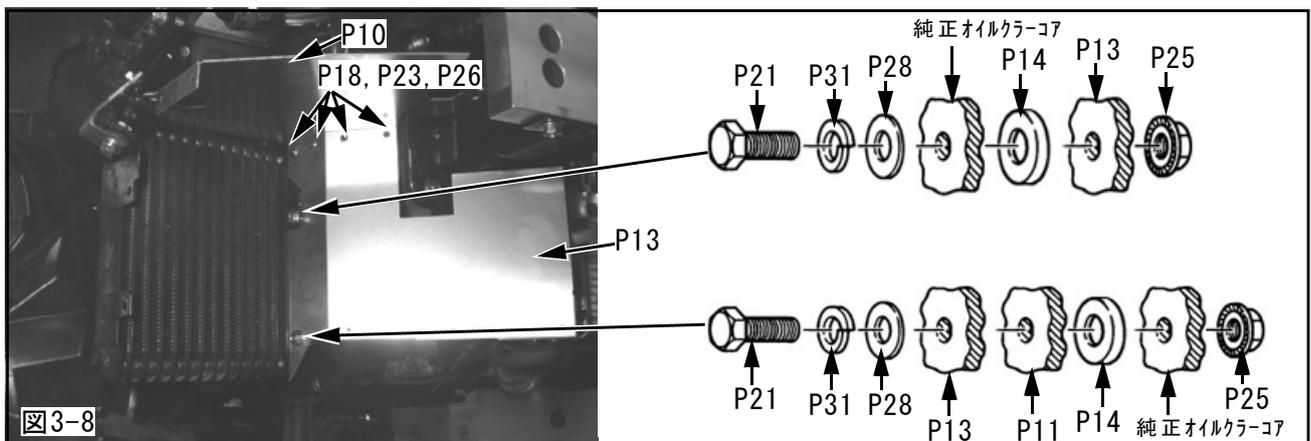


(8) オイルクーラダクトNo.4を純正オイルクーラコアへ仮付けしてください。(図3-8)

- ・ P13 : オイルクーラダクトNo.4 (×1)
- ・ P14 : カラー (×2)
- ・ P21 : ボルトM8 L=20 (×2)
- ・ P25 : フランジ付きナットM8 (×2)
- ・ P28 : プレーンワッシャM8用 (×2)
- ・ P31 : スプリングワッシャM8用 (×2)

(9) オイルクーラダクトNo.4へオイルクーラダクトNo.1を仮付けしてください。(図3-8)

- ・ P10 : オイルクーラダクトNo.1 (×1)
- ・ P18 : ボタンボルトM4 (×4)
- ・ P23 : ナットM4 (×4)
- ・ P26 : プレーンワッシャM4用 (×8)

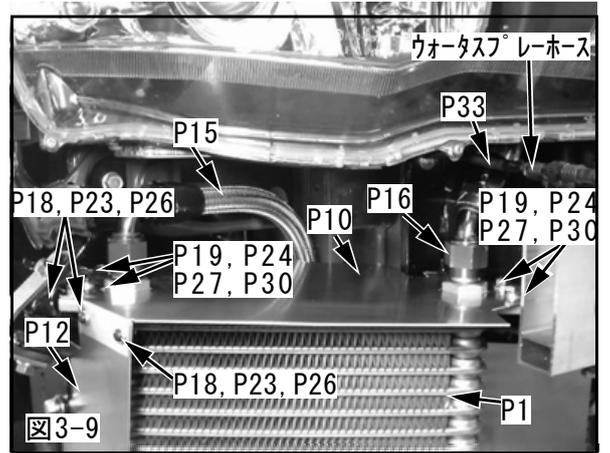


(10) オイルクーラダクトNo.1にオイルクーラコアを仮付けしてください。(図3-9)

- ・ P1 : オイルクーラコア (×1)
- ・ P19 : ボルトM6 L=15 (×4)
- ・ P24 : フランジ付きナットM6 (×4)
- ・ P27 : プレーンワッシャM6用 (×4)
- ・ P30 : スプリングワッシャM6用 (×4)

(11) オイルクーラホースNo.1, オイルクーラホースNo.2をオイルクーラコアに仮付けしてください。(図3-9)

- ・ P15 : オイルクーラホースNo.1
(3. (1)で純正オイルクーラコアへ仮付けしたもの)
- ・ P16 : オイルクーラホースNo.2
(3. (6)でエンジンへ取付けしたもの)



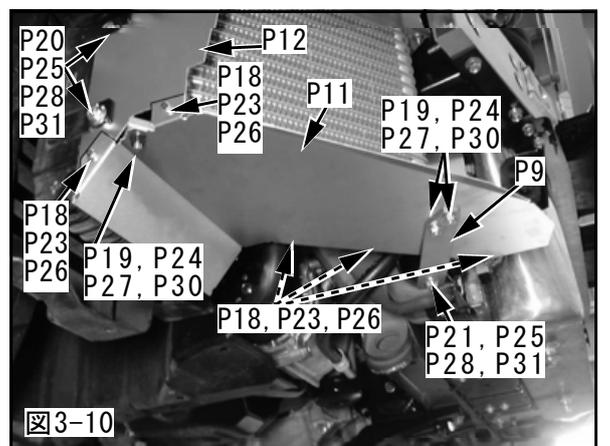
●ウォータスプレー装着車の場合

(12) ウォータスプレーホースにコルゲートチューブを取付けてください。(図3-9)

- ・ P33 : コルゲートチューブ (×1)

(13) オイルクーラダクトNo.3を純正オイルクーラコア, オイルクーラダクトNo.1に仮付けしてください。

- (図3-9, 図3-10)
- ・ P12 : オイルクーラダクトNo.3 (×1)
 - ・ P18 : ボタンボルトM4 (×3)
 - ・ P20 : ボルトM8 L=15 (×2)
 - ・ P23 : ナットM4 (×3)
 - ・ P25 : フランジ付きナットM8 (×2)
 - ・ P26 : プレーンワッシャM4用 (×6)
 - ・ P28 : プレーンワッシャM8用 (×2)
 - ・ P31 : スプリングワッシャM8用 (×2)

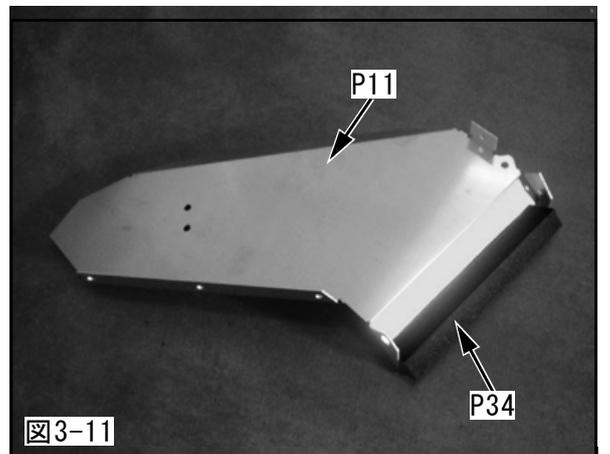


(14) オイルクーラダクトNo.2にスポンジテープを貼付けてください。(図3-11)

- ・ P11 : オイルクーラダクトNo.2 (×1)
- ・ P34 : スポンジテープ (×1)

(15) オイルクーラコア, オイルクーラダクトNo.3, オイルクーラダクトNo.4にオイルクーラブラケットNo.3, オイルクーラダクトNo.2を仮付けしてください。

- (図3-8, 図3-10)
- ・ P9 : オイルクーラブラケットNo.3 (×1)
 - ・ P18 : ボタンボルトM4 (×5)
 - ・ P19 : ボルトM6 L=15 (×3)
 - ・ P21 : ボルトM8 L=20 (×1)
 - ・ P23 : ナットM4 (×5)
 - ・ P24 : フランジ付きナットM6 (×3)
 - ・ P25 : フランジ付きナットM8 (×1)
 - ・ P26 : プレーンワッシャM4用 (×10)
 - ・ P27 : プレーンワッシャM6用 (×3)
 - ・ P28 : プレーンワッシャM8用 (×1)
 - ・ P30 : スプリングワッシャM6用 (×3)
 - ・ P31 : スプリングワッシャM8用 (×1)

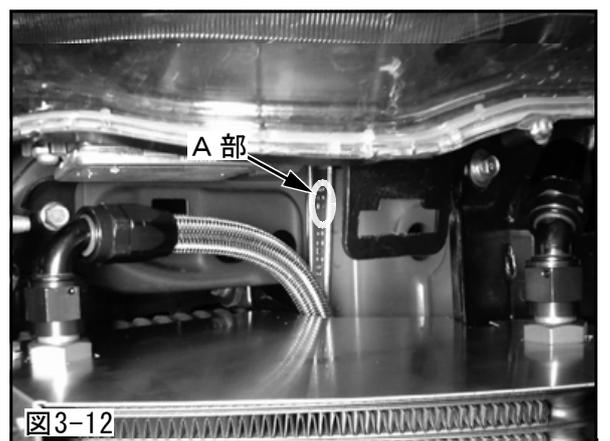


(16) オイルクーラコア及びオイルクーラダクトを本締めしてください。

(17) オイルクーラホースNo.1, オイルクーラホースNo.2を本締めしてください。

アドバイス

- ・ オイルクーラホースNo.1の締め付けは図A部から工具を入れると作業を行なうことができます。(図3-12)



4. 取付後の確認

バッテリーのマイナス端子を取付けてください。

エンジンオイルを交換してください。

アドバイス

- ・HKS製エンジンオイルのご使用をお薦めいたします。

エンジン始動前の確認

確認項目	確認
パイプ・ホースなどの配管がまちがっていないか。	
ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	
エンジンオイルがレベルゲージのH（F）～Lの間にあるか。	
ボルト・ナット類の締め忘れがないか。	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか。	
オイルクーラコアがしっかり固定されているか。	
オイルクーラコアやホースからオイルもれがないか。	

エンジン始動後の確認

始動直後は回転を上げないようにしてください。（アイドリング運転）

確認項目	確認
オイルもれがないか。	
軽く空拭かしを2、3度行ないオイルがもれていないか。	
部品による干渉音がないか。	
油圧が上昇し、オイルクーラにオイルが回っているか。	
エンジンを停止して、ネジ等がゆるんでいないか。（再度取付け部品の締め付け確認）	
エンジンオイルがレベルゲージのH（F）～Lの間にあるか。	

- エンジンオイルの温度が98℃以上になるとサーモスタットが作動し、コアへ流れるオイルの量が増加します。オイルクーラコアとホース内にオイルを充分循環させた後にエンジンを停止し、オイルレベルゲージを再度確認してください。
オイルレベルが下がっている場合は規定量までオイルを補充してください。

5. ノーマルパーツ取付け

(1) エアクリーナダクト, ヘッドライトサポートカバー, フロントバンパAssyを取付けてください。
(図1-2)

(2) エンジンルームアンダカバーフロントA, エンジンルームアンダカバーフロントB, エンジンルームアンダカバーセンターを取付けてください。

※取付け作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行なってください。